



インクジェットプリンター用高性能 UV インク

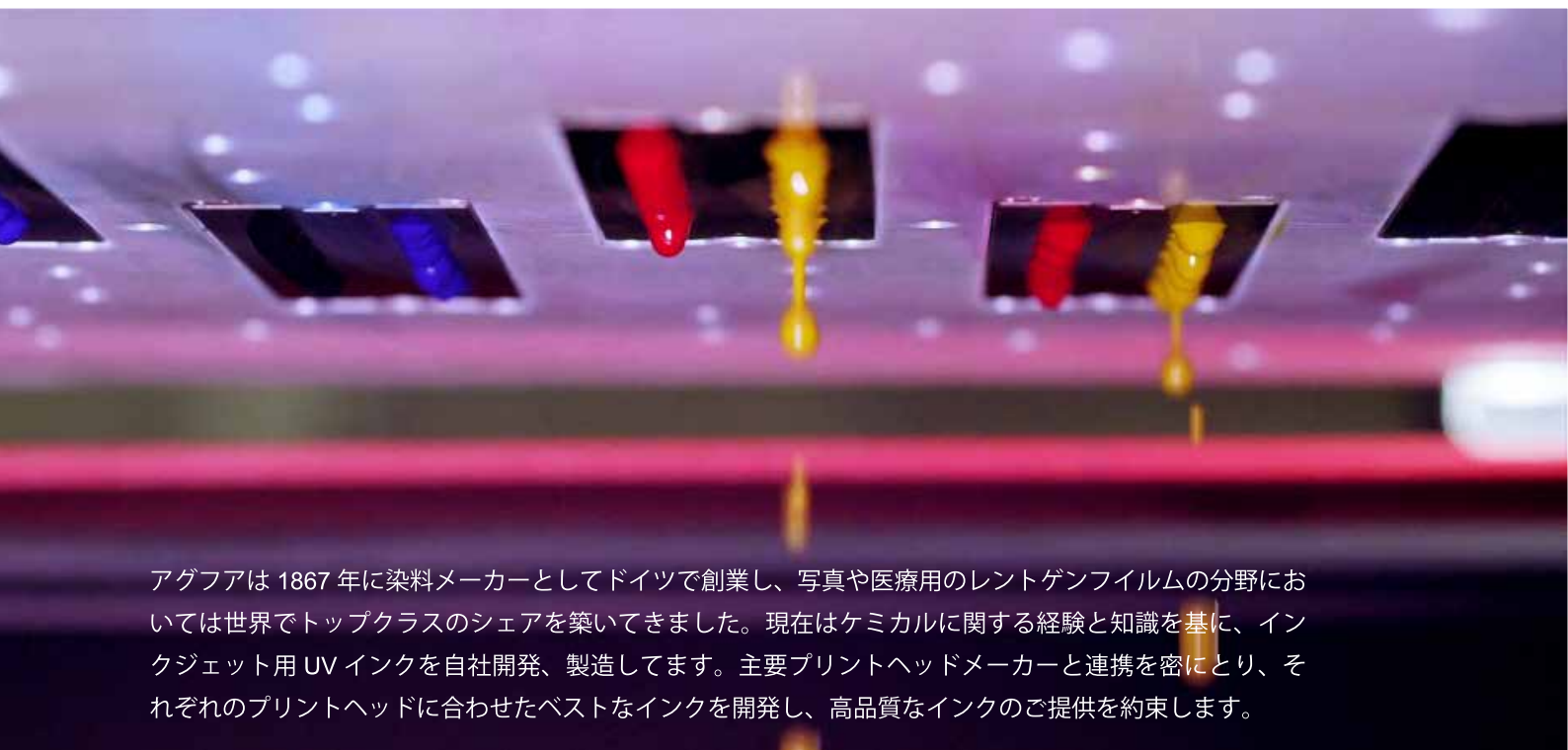
## Agfa's UV ink

アグファ純正UVインク

アグファ独自の特許技術により高濃度・広色域・低消費を実現した高性能UVインクジェット用 UV インクです。

THINK INKJET  
THINK **AGFA** 

# Agfa's UV ink



アグファは 1867 年に染料メーカーとしてドイツで創業し、写真や医療用のレントゲンフィルムの分野においては世界でトップクラスのシェアを築いてきました。現在はケミカルに関する経験と知識を基に、インクジェット用 UV インクを自社開発、製造しています。主要プリントヘッドメーカーと連携を密にとり、それぞれのプリントヘッドに合わせたベストなインクを開発し、高品質なインクのご提供を約束します。

## 5 Reasons アグファの UV インクを選ぶ 5 つの理由

### ① 高濃度・低消費

アグファ独自の Thin ink layer テクノロジーにより、印刷後のインク膜厚の薄膜化と、インク消費量の少量化を実現しました。特許取得済みの顔料分散技術によりインク中の顔料の高含有率を実現し、わずかなインク吐出量でもしっかり濃度を保ちます。



### ② 環境性能

アグファの UV インクは VOC を一切含まないほか、各国の化学物質規制をクリアしています。プリンターを運用するオペレーターの健康に配慮し、アグファの UV インクを使用した印刷物は学校や医療施設のようなデリケートな屋内環境でも安心して使用ができます。



### ③ 広色域・高品質

高い顔料含有率により、濃度が高く、鮮やかで広い色域を可能としています。様々な印刷メディアとの相性もよく屋内、屋外それぞれのアプリケーションで求められる印刷品質に応じてシャープな画像となめらかなグラデーションを実現します。

### ④ 屋外耐候性

UV 硬化技術の進歩により UV インクの柔軟性が向上し、屋外対候性が飛躍的に伸びました。さらにアグファの UV インクには高品質の顔料を採用しており、一層優れた屋外対候性を発揮します。加速試験機による対候性評価に加えて試験機関による屋外曝露試験を行い、3 年相当の対候性を確認しています。



### ⑤ 長期保存

Pigment shield テクノロジーにより長期に渡って顔料性能を保持し、吐出安定性を維持します。アグファの UV インクは製造後 24 カ月と、インクジェット用 UV インクとしては最長の消費期限を実現しています。

# Thin ink layer technology 薄膜インクテクノロジー

## 薄膜インクテクノロジー

Thin ink layer テクノロジーはアグファの長年のノウハウに基づき開発されました。その核心技術は独自のインク調合技術と革新的な顔料分散技術であり、インクジェット用 UV インクとして最大級の顔料含有率を誇ります。インク消費量を最小化し、印刷後の薄く滑らかなインク膜を実現します。一般的な画像の印刷には 1㎡あたり、約 15ml のインクを消費するところ、アグファの UV インクはわずか約 7ml です。

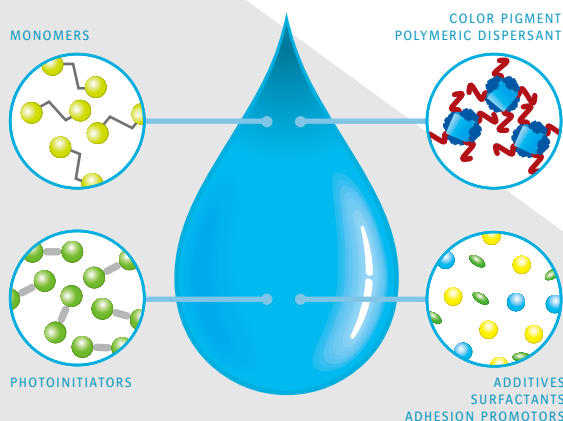


## ソフトウェアとの連携

Thin ink layer テクノロジーはソフトウェア技術により一層効果を発揮します。

RIP ソフトウェア「ASANTI」に搭載されている Dynamic ink split と GCR と組み合わせることによりソフト的に画像のカラーを保持したまま、インク量を削減し、さらに少ないインクで高品質印刷を実現します。

## The power of UV inks UV インクの優位性



- ✓ 瞬時に乾燥する即乾性
- ✓ 様々な印刷基材に対する優れた密着性
- ✓ 加工時の擦れに強い耐擦過性
- ✓ 什器制作に適した柔軟性
- ✓ 耐薬品性
- ✓ VOC 非含有

UV インクは主にモノマーと重合開始剤から構成され、UV 光の照射による重合反応を利用しています。重合開始剤に UV 光が照射されるとラジカルを形成し、モノマー高分子化を促進します。さまざまな添加剤により表面張力、保存安定性、密着性などの物性改良性能向上を図っています。

揮発成分を含まないため、熱による硬化方式と比較して、消費量の少なさと乾燥性能で優れています。



# How to make UV ink UV インクの製造工程

## 研究開発

アグファのインク開発プロセスはきわめてユニークです。薬剤開発のアプローチを採用し、医薬品同等の精密な方法で行われます。厳密にコンポーネントに対してスクリーニングとテストを行い、あらゆるフォーミュレーションの可能性を追求しています。

## 高速スクリーニング

High-Throughput Screening システム (HTS) により無数のフォーミュレーションの中から、設計品質にもっとも適切な組み合わせを迅速に特定します。

HTS により、粘度、表面張力、Lab 値、硬化速度などの計測を自動的に行うことが可能です。インク開発プロセスを短期化します。



## パッケージ・ボトリング

アグファのボトリング・ライン、パッケージング・ラインは完全に自動化されており、管理された環境のもとで正確にインクを充填します。

インクボトルは UV インクの品質保持を可能とする機能性を持ち、フィルムとボトルキャップで二重に密閉され、インク漏れを防ぐほか保存性を維持しています。

## エコスリージャパン株式会社

アグファ・インクジェット製品ソリューション部

本社 〒105-0004 東京都港区新橋 4 丁目 21-3 新橋東急ビル 10 階  
大阪支社 〒550-0011 大阪市西区立売堀 1-4-12 立売堀スクエア 3 階  
中部支社 〒451-0043 名古屋市中区新道 1-1-1SS23 ビル 3 階  
九州支店 〒812-0007 福岡市博多区東比恵 3-22-31 日本空輸ビル  
札幌営業所 〒003-0024 札幌市白石区本郷通 6 丁目南 2-22 ノースコート 202

◆仕様は予告なしに代わる場合があります。

AGFA およびアグファロゴは Agfa-Gevaert AG の登録商標です。  
ANAPURNA および ASANTI は Agfa-Gevaert N.V. の登録商標です。  
その他の商品名は該当各社の商標または登録商標です。

LKBKY707-PN06/23

## 顔料分散技術

UV インクの開発において顔料分散技術は最も重要な要素のひとつです。アグファは自社で顔料の粉碎プロセスを行い、粒子径の均一な顔料を使用しています。この良質な顔料と分散技術により高含有の顔料をインク中に均一に分散させ、Thin ink layer テクノロジーと長期安定性を実現しています。

## ミキシング・フィルタリング

一貫して安定した品質・物性のインクを製造するためには材料の正確な計量とミキシング (調合) が必要不可欠です。同じようにフィルタリング (濾過) も重要なプロセスです。規格に沿った粒子径をコントロールしています。

## クオリティ・コントロール

インク製造における品質管理プロセスは慎重に行われます。インク材料は納入時に受入テストを行い、すべての製造バッチで吐出性能ほか主要な物性についてテストが行われます。厳正な出荷基準をクリアした製品のみ流通させています。



製品情報 URL (英語)

<https://www.agfa.com/printing/large-format/>



製品情報 URL (日本語)

<https://www.eco3japan.com/products/inkjetsolution/>

ECO

THINK INKJET  
THINK **AGFA** Agfa